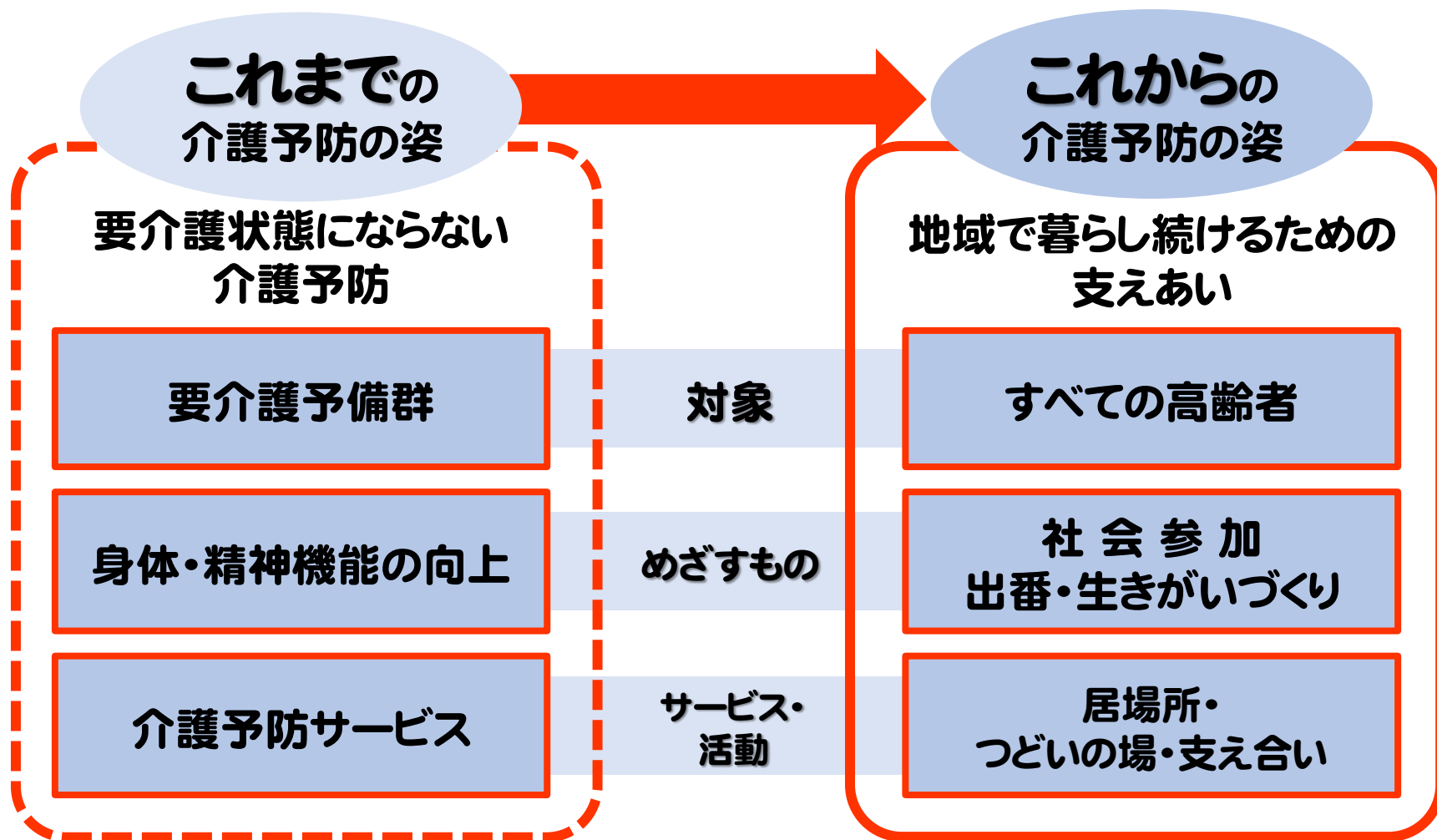


長浜市生活支援活動の紹介

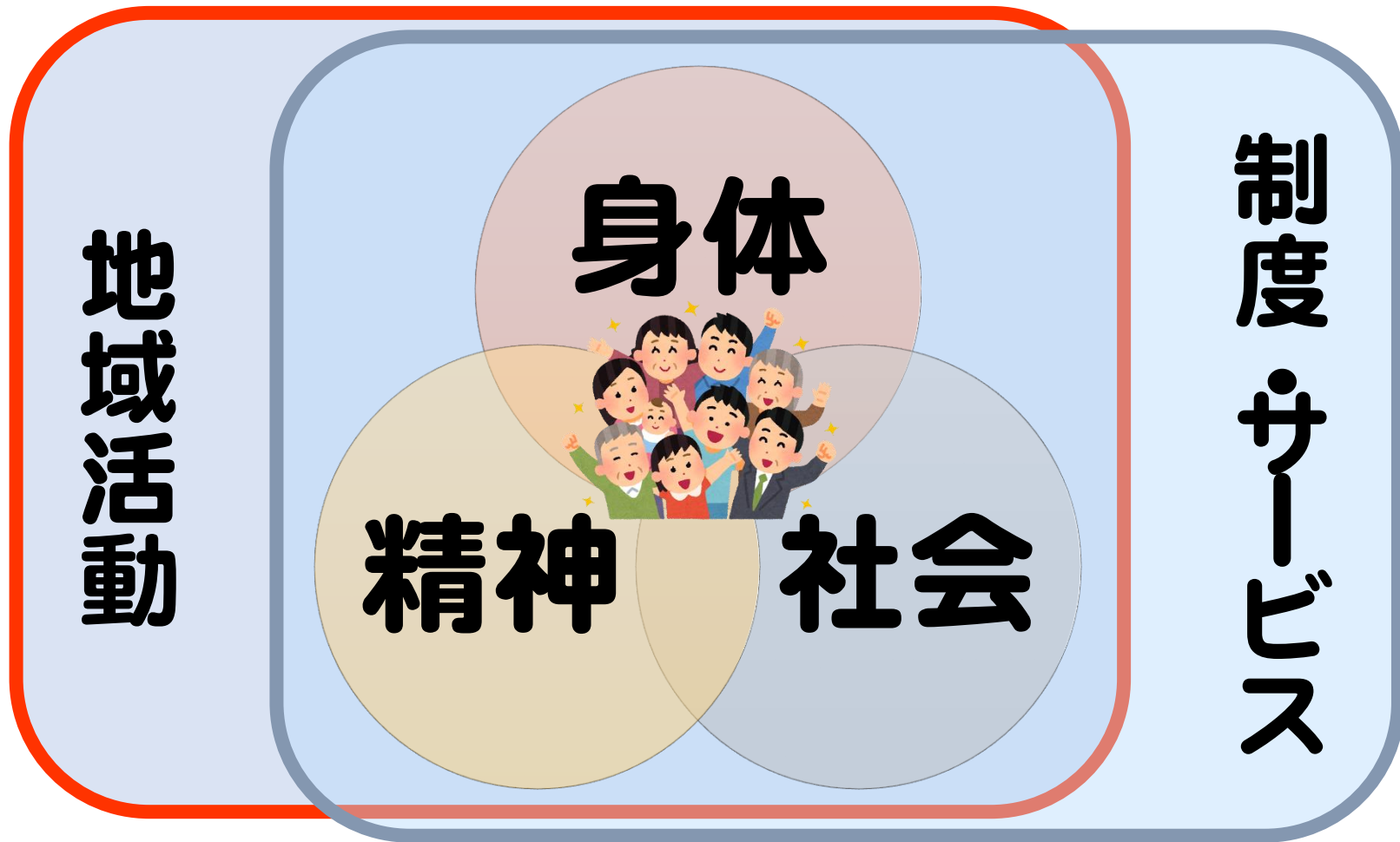
生活支援コーディネーター

日本の「福祉」を取り巻く考え方の変化

介護保険の視点は「地域づくり」へ



日本の「福祉」を取り巻く考え方の変化



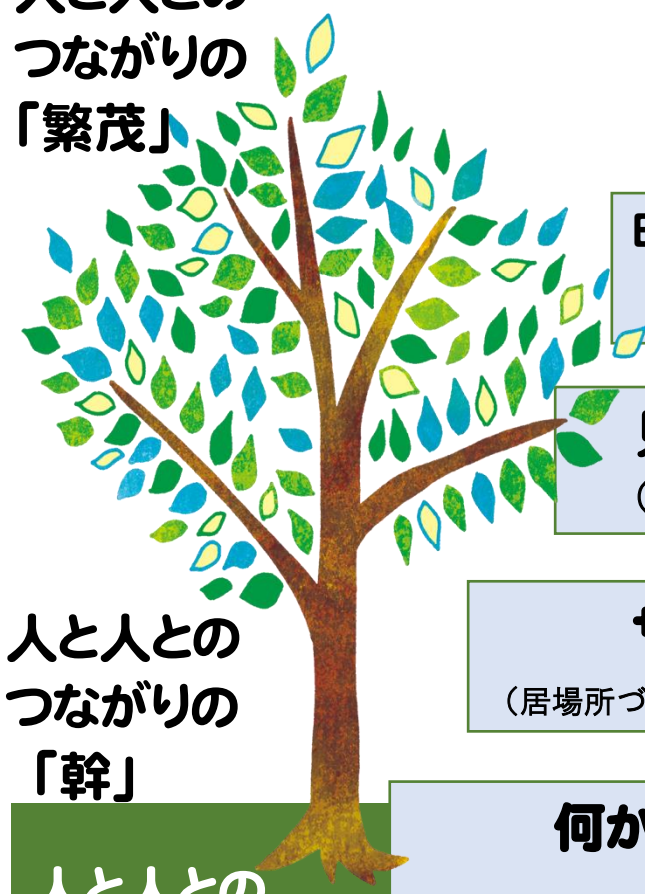
「地域活動」と「制度・サービス」の
両輪が必要

介護保険の視点は「地域づくり」へ

人と人との
つながりの
「繁茂」

人と人との
つながりの
「幹」

人と人との
つながりの
「根」



制度を活用したサービス
(介護保険制度など)

日常的な生活支援・介護予防の取り組み
(暮らしの支え合い)

見守り活動
(互いに認め合い、励まし合う関係づくり)

サロン活動、転倒予防教室
(居場所づくり、交流の場づくり、出番づくり、健康づくり)

何かのついでに安否確認
(見守り活動ことはじめ)



あいさつ・おしゃべり
(近所づきあい、日常的な対話と交流)

フォーマルな資源
インフォーマルな資源
自然なお付き合

支援のプロ
つなぐ専門職
(生活支援コーディネーター)
地域のプロ

生活支援コーディネーターの役割とは

目的

高齢者に必要な生活支援等サービスの提供体制を構築するため

- ◆多様な日常生活上の支援体制の充実及び強化
- ◆高齢者の社会参加などの支えあい活動の推進

内容

地域住民、関係機関と連携し、

- ◆地域に不足するサービスの創出、担い手養成等資源開発
- ◆関係者間の情報共有等を目的としたネットワーク構築
- ◆地域ニーズの把握やサービス提供主体の活動マッチング

第8期ゴールドプランながはま21

基本理念

みんなで支え合い いきいきと暮らせる あたたかな長寿福祉のまち

5つの基本目標

基本目標1

高齢者の尊厳が
保持される社会
づくりの推進

基本目標2

高齢者の積極的
な社会参加と地
域福祉の推進

基本目標3

地域の多様な主
体による高齢者
の健康づくりと
介護予防の推進

基本目標4

高齢者の自立を
支援する相談・
支援体制の推進

基本目標5

身近な地域で、
利用しやすく、
質の高い介護サ
ービスの推進

7つの施策

施策1 地域福祉の推進

施策2 社会参加の促進

施策3 地域包括ケアシステムの推進

施策4 健康づくり・介護予防と自立生活支援の推進

施策5 介護・福祉人材の確保・定着・育成

施策6 認知症施策の推進

施策7 介護サービス等の確保・推進

①地域福祉の推進

- ◆地域におけるネットワークの構築と強化 ◆地域福祉の啓発
- ◆介護予防・日常生活支援の担い手育成 ◆地域共生社会の構築

②社会参加の促進

- ◆高齢者組織の支援 ◆退職シニア人材のマッチング

③地域包括ケアシステムの推進 (生活支援体制整備事業の充実)

- ◆協議体の設置と運営 ◆地域ケア会議の推進
- ◆ICTの利活用 ◆安全で安心して暮らせるまちづくりの充実

④健康づくり・介護予防と自立生活支援の推進

- ◆健康づくり・介護予防の取組みへの支援
- ◆一般介護予防事業の推進 ◆在宅福祉サービス

⑤介護・福祉人材の確保・定着・育成

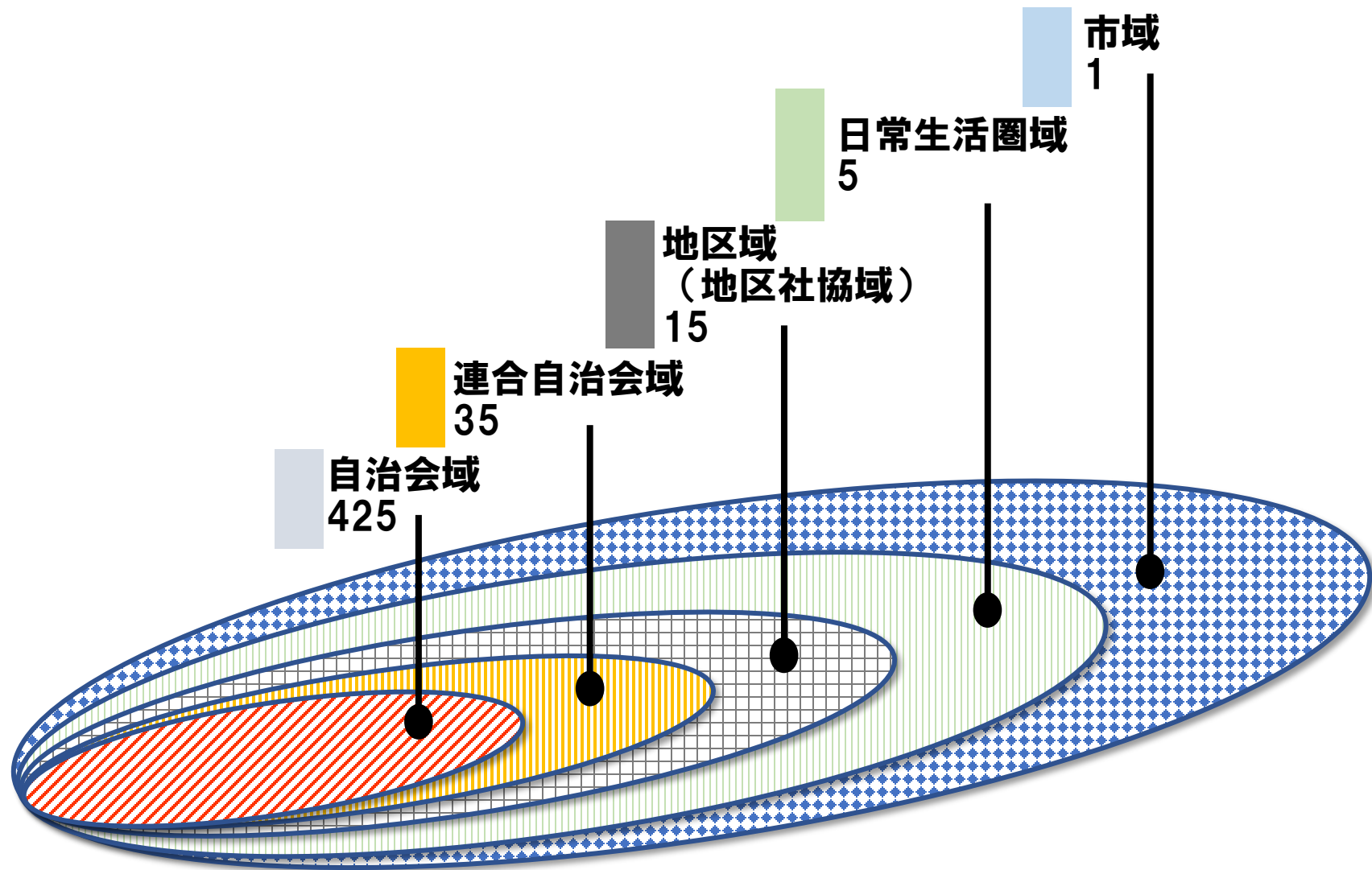
⑥認知症施策の推進

- ◆認知症に関する理解促進 ◆認知症のある人の介護者への支援
- ◆「認知症バリアフリー」の推進

⑦介護サービス等の確保・推進

「7つの施策」に沿った
生活支援活動の取組み

地域コミュニティの階層



施策1

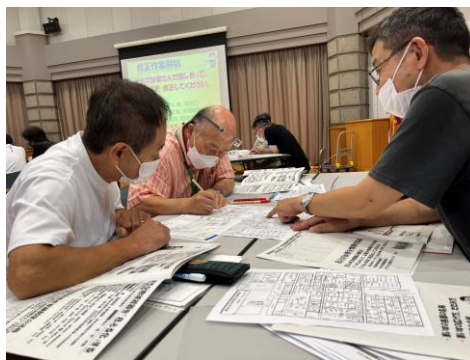
地域福祉の推進

施策3

地域包括ケアシステムの推進

見守り活動の推進

- ◆自治会を中心とした近隣住民同士による支えあい活動
- ◆住民同士の関係性が希薄化する中、「命のボタン」や「防災・福祉マップ」を介することで、機能的な見守り活動の体制が構築され、それによって住民間のコミュニケーションが発生しています
- ◆令和4年度は「避難支援・見守り支えあい制度登録」に福祉専門職（ケアマネージャー、しょうがい計画相談員）が関わるモデル取り組みも推進され、いざという時の対応などがより具体的に想定されました



施策1

地域福祉の推進

施策3

地域包括ケアシステムの推進

見守り活動の推進

命のバトン

311/425自治会 (73.1%)

福祉委員

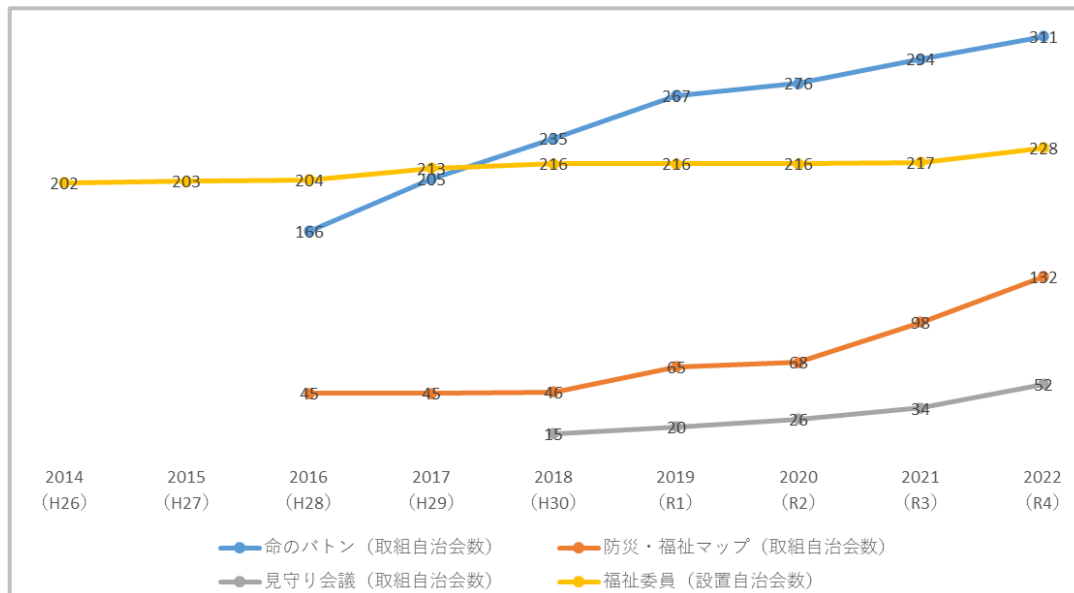
228/425自治会 (53.6%)

防災・福祉マップ

132/425自治会 (31.0%)

見守り会議

52/425自治会 (12.2%)



施策1

地域福祉の推進

施策3

地域包括ケアシステムの推進

地域共生社会の構築、専門職との連携 「暮らしの支えあい検討会」(第2層協議体)の推進

- ①地域の様々な**困りごと**を受け止め、**共有**する場
- ②困りごとの**解決**に向けた「**仕組み**」を検討する場
- ③**住民と専門職の連携**を深める場

◆「暮らしの相談窓口」や「生活支援V活動」との連携も



施策1

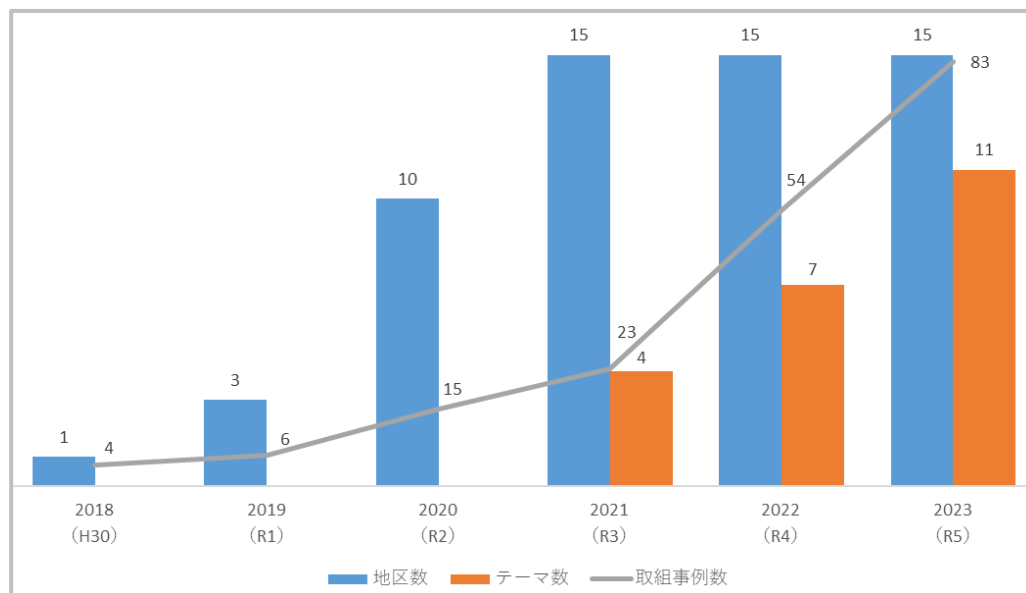
地域福祉の推進

施策3

地域包括ケアシステムの推進

地域共生社会の構築、専門職との連携

- ◆生活支援V団体の立上げの検討、フレイル予防活動の展開など、地域課題に合わせた活動が検討、企画、実施されています
- ◆取り組み開始から6年目となり、83取組みが検討話題として取り上げられています



施策2

社会参加の促進

施策4

健康づくり・介護予防と自立生活支援の推進

生活支援ボランティア活動

市内**8団体**が活動(長浜、六荘、西黒田、神田、下草野、虎姫、余呉、西浅井)

令和3年度延活動件数:**602件**

◆活動例:買い物支援活動、家屋の整理・清掃活動
除雪、畑作業手伝い、除草作業、通院付添い
お弁当配食 など



施策2

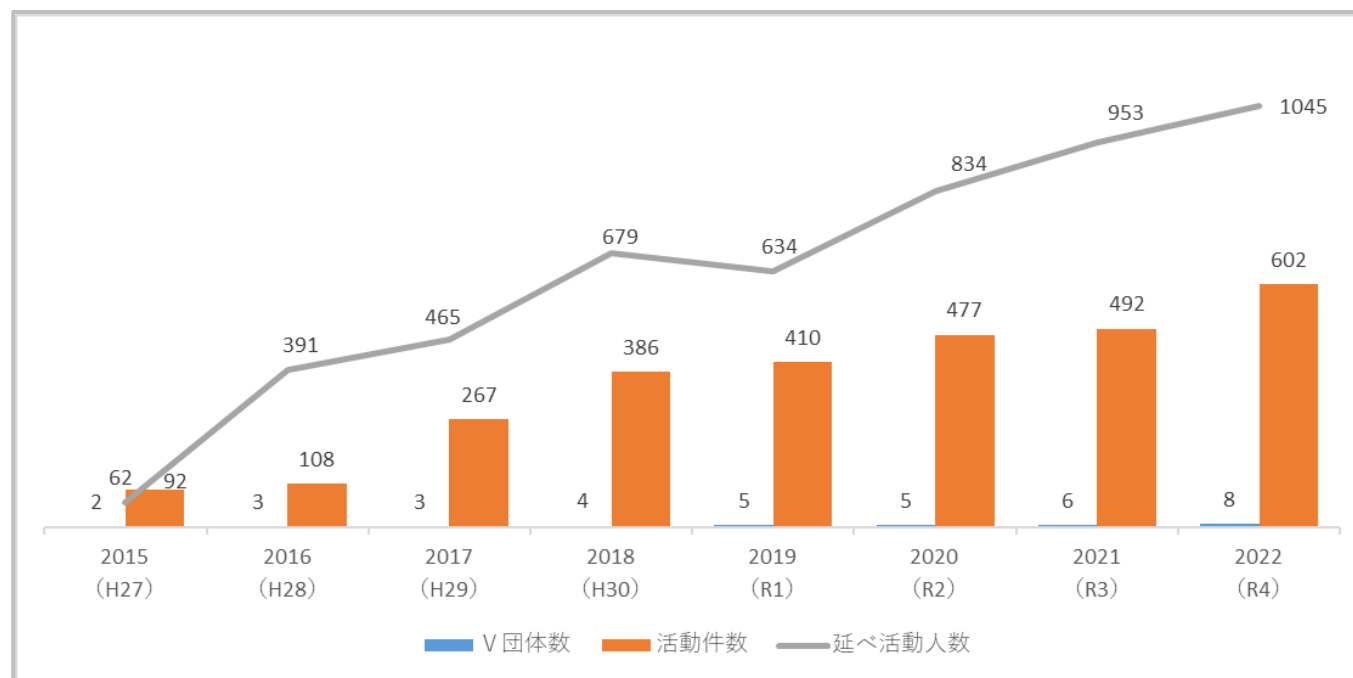
社会参加の促進

施策4

健康づくり・介護予防と自立生活支援の推進

生活支援ボランティア活動

◆取り組み開始から継続的に団体数、活動件数、延べ活動者数は増加しています。コロナ禍においても活動は伸びており、日常的な生活に対する支援となっていることが伺えます



施策2

社会参加の促進

施策4

健康づくり・介護予防と自立生活支援の推進

サロン活動・転倒予防教室の推進

サロン活動 **264/425自治会** (62.1%)

転倒予防教室 **154/425自治会** (36.2%)

- ◆居場所づくり、役割づくり、健康づくりの**社会参加機能**
- ◆自治会域の**福祉活動の基盤** (つながりづくり、見守り活動など)
- ◆**新しい世代**に合わせた居場所づくり推進



施策2

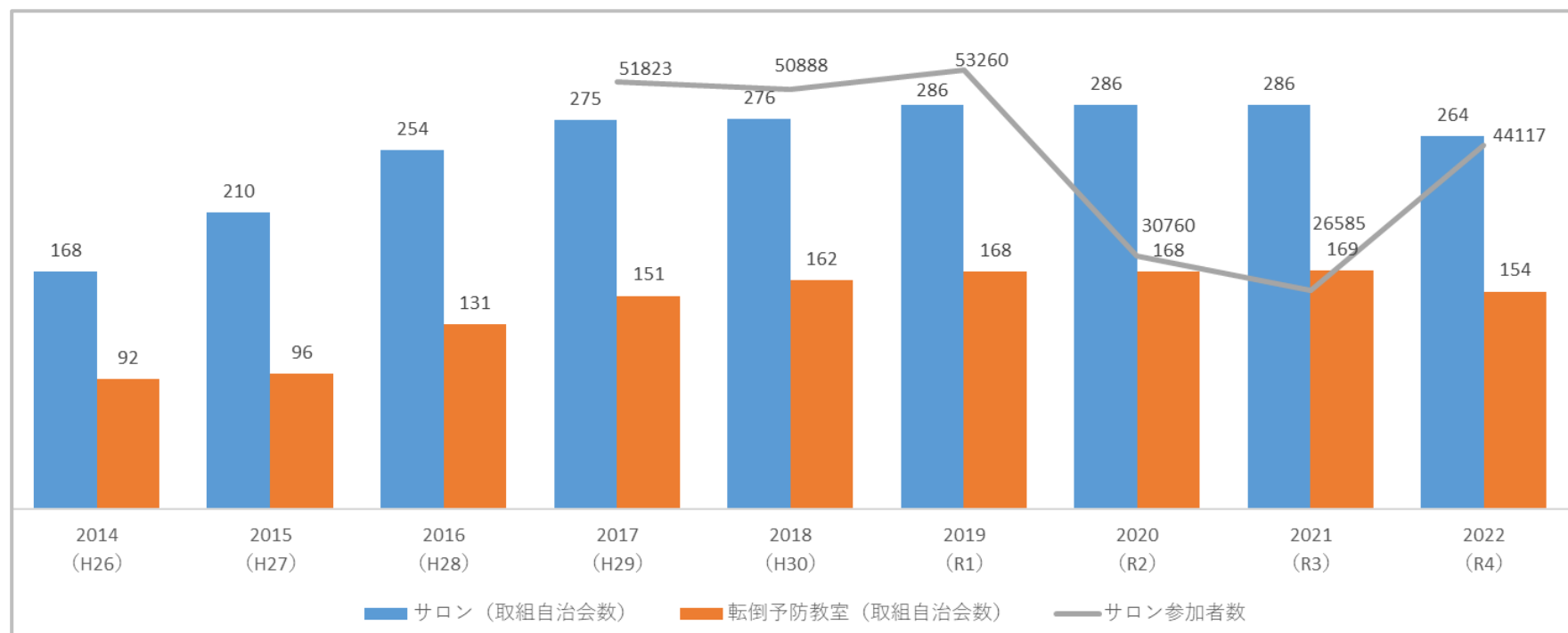
社会参加の促進

施策4

健康づくり・介護予防と自立生活支援の推進

サロン活動・転倒予防教室の推進

◆自治会の規模によってはエリアごとに、また、年齢層を分けるなど、参加者に合わせたサロン活動の立上げも進んでいます



施策1 生活支援活動者の育成

福祉活動の重要性の周知と地域活動者の養成に向けた連続講座の開催

- ◆ **入門編**：福祉委員、自治会役員等を対象に、地域活動の楽しさややりがいについて周知啓発
- ◆ **活動編**：地域活動者や今後の担い手候補者を対象に、地域課題の発見と今後の活動について意見交換



施策1 地域福祉の推進

支えあい活動の情報発信・啓発活動

- ◆長浜市支えあいの地域づくり通信(2回/年)
- ◆市社協広報紙・地区社協広報誌で活動紹介
- ◆サロン情報誌(6回/年)
- ◆出前講座等の実施(市・地区域)
- ◆SNSや各種メディアへ掲載

信通地域づくりのえ合いの支店長浜市

発行：生活支援コーディネーター
発行日：令和5年3月10日

 長浜市社会福祉協議会
2022年11月8日・火

【ながはま地域福祉塾を開催しました】

各地域で様々な課題が浮き彫りになってきている中、福祉活動・住民活動の大切さが改めて考えられています。

現在地域活動をされている方、また関心をお持ちの方と一緒に、地域の活動を知り今後の取り組みを一緒に考える「ながはま地域福祉塾」を開催しました。

2 回連続で開催したこの講座は、まず地域福祉の現状を学び、自分の住む地区の強みや課題について共有しました。また、他県の様々な活動を知り、それも参考にしながら、今後自分たちの地域でどんなことができるかを考えました。

印象的だったのは、他県の活動を知ることにより、改めて自分の地区活動や市内の他地区の活動について情報交換される様子が多かったことです。様々な情報の中で、今ある活動の良さを再認識され、それに+αができるかも、と熱心に意見を交わされました。…もつと見る

[illegible]

「支え地」通信

2023 春号

発行：生活支援コーディネーター
発行日：令和5年3月10日

「誰とも会話しないう日が多い」
 「近所との付き合いがない」
 「困った時に頼る人がいない」
 「ちょっと助けが必要なのに地域にいない」
 「誰もわたしのことを必要としてくれない」

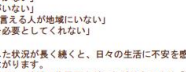
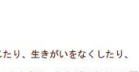
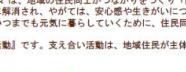
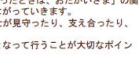
人は地域から孤立した状況が集く越くと、日々の生活に不安を感じたり、生きがいをなくしたり、心身の不安定につながります。

こうした不安な日々では、地域の住民同士がつながりをつくり「困ったときは、おたがいきま」の関係を築くことで徐々に解消され、やがては、安心感や生きがいにつながっていきます。

住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らしていくために、住民同士が見守ったり、支え合ったり、助け合ったり。

これが『支え合い活動』です。支え合い活動は、地域住民が主体となって行うことが大切なポイントなのです。

市内の支え合い活動を紹介しています。







施策1 地域福祉の推進

コロナ禍で懸念されているフレイルについて、起業と連携した啓発活動や予防活動の推進

- ◆市民が多く訪れるアルプラザ長浜店を会場に、専門職が連携し啓発・予防活動の実施
- ◆定期的(1回/月)な開催により継続した意識向上の働きかけ



施策1 地域福祉の推進

日常生活に必要不可欠な買い物支援の推進

- ◆生活協同組合コープしがと買い物に困窮している地域（余呉、上草野）との協定を締結
- ◆「あったか便」による移動店舗の実施と、地元住民による見守り活動の推進（運航日：月～金）



住民の声

- ◆ 馴染みの人とのおしゃべりが元気のもと。気楽に集まれる場所があるのが嬉しい。
- ◆ 認知症の親戚が心配なので、地区で見守りをしてもらえると、とても心強い。
- ◆ 具合が悪くなった時にすぐ対応してもらい、病院まで送迎してもらってありがたかった。ひとり暮らしで不安はあるが、身近な人が助けてくれるので安心して頼むことができる。
- ◆ 買い物のついでに寄れる場所で健康チェックをしてもらえると、参加しやすい。自分の意識が少し変わり、普段の生活でも健康に気をつけるようになった。
- ◆ 定年退職し、何かしたいと思っていた。仲間と一緒に活動し、これからも楽しく健康に生活していきたい。

成果

◆生活支援活動の創出

- ・生活支援ボランティア団体の創出 (市内8/15地区)
- ・企業等との連携による高齢者の社会参加の機会創出
- ・関係機関と地域住民との顔の見える関係づくりをとおした見守り体制の構築
- ・フレイル予防や健康づくりの啓発をとおした介護予防の取組み

◆主体的に生活支援活動に参加・参画できる仕組み

- ・市域・地区域・自治会域など活動圏域に合わせた活動展開



課題

◆人材(参加・参画)の課題

- ・あて職役員、単年度役員が多く、前例踏襲の事業実施になる
- ・役員(運営者)の後継者がいない
- ・ある程度の時間的余裕のある活動者は高齢者が多いことから活動期間が長くなく、常時の人材育成、活動創出が必要

◆地域課題解決に向けた主体性づくり

- ・「自分たちの地域は自分たちでつくる」意識が低下している
- ・情報発信などを行っているが「見たことない」という声
- ・研修会や懇談会などは参加者が固定化

◆活動を取り巻く課題

- ・活動財源の不足、助成金は手続きが負担で申請がそう多くない
- ・活動に使用する物品の手配(送迎活動に使用する車両など)
- ・(特にサロン活動では)男性の参加者が少ない

→地域共生など、ほかの取組みとも連携した課題解決に取り組む

計画

生活支援人材の育成

生活支援に取り組む人材を育成する講座を開催します

◆地域福祉講演会

日時:令和5年7月17日(月・祝)

①10:00～②13:30～

内容:講演「福祉活動の楽しさ・やりがいとは」

講師:田川雅規さん(あそびの工房もくもく屋)

◆地域福祉塾

日時:①令和5年8月2日(水)13:30～

②令和5年9月6日(水)13:30～

内容:①「地域福祉の現状について」

②「自分がやりたい・できる地域活動について」

講師:酒井保さん(全国CLC、ご近所福祉クリエイター)

計画

生活支援ボランティア団体の創出と活動支援

生活支援に取り組む団体の創出と活動支援に取り組みます

◆生活支援ボランティア団体の創出

- ・しょうがいや、様々な生きづらさを抱える人たちによる生活支援団体の立上げ
- ・利用者の「ありがとう」を、生きづらさを抱える人の「自己肯定」に

◆生活支援ボランティア団体研修会・交流会

- ・研修機会と横のつながりをつくる場の開催(2回／年)
- ・団体同士の情報交換や交流の促進

計画

企業との連携促進

企業と連携した生活支援活動の推進

◆音楽を活用した“楽しい”介護予防活動の推進

- ・イケダ光音堂と連携し、ヤマハプログラムを活用した介護予防プログラムの開発
- ・「リズム体操」、「口腔ケアプログラム」の開発

◆商業施設を活用した啓発活動

- ・平和堂アルプラザ長浜店、イオン長浜店の交流スペースを活用した啓発活動の実施

◆移動店舗と連携した地域の活性化

- ・生活協同組合コープしがの移動店舗を活用した、①日常生活支援、②交流・社会参加促進、③見守り活動促による地域の活性化のため、地域との協議の場の開催、取組みの企画と実施